



みょうこうケアフォーラム通信

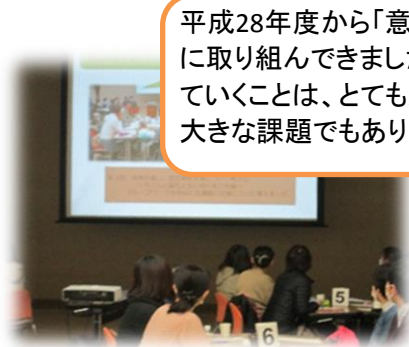


平成29年度 第2回 みょうこうケアフォーラムを開催しました！

- 日 時：平成30年2月1日（木）18時30分から20時00分
- 会 場：新井ふれあい会館 ふれあいホール
- 参加者：50名（介護ネットワーク事業所、医療機関、薬局等）
- 内 容：これまでの取り組み紹介
取り組み事例紹介
グループワーク



司会は実行委員会の原さん



平成28年度から「意思決定支援」をテーマに取り組んできました。意思決定を支援していくことは、とても大切なテーマであり、大きな課題でもあります。



実行委員会の長嶺さんから、これまでの取り組みについて紹介していただきました。

～ご本人が望む生活を実現するために～ 意思決定支援について、私たちができること・すべきこと

第2回では、取り組み事例紹介とグループワークを行いました。

みょうこうケアフォーラムの仲間の取り組みを知り、また、自分自身のこれまでの日々の仕事を振り返り、改めて、「意思決定支援」について考え、思いを共有しました。

取り組み事例紹介

①「自宅で過ごしたい。」という強い思いを持ったAさんとの関わりを通して、意思決定支援について振り返りました。



ふれあいの里・矢代 山田 美子さん

これまでのものがたり
の理解



新たなものがたり
の共有

- 本人の状況・思いを確認しながら、少しずつ段階を踏んで支援していった。
- できることを継続し、意欲を奪わないよう注意して関わった。

②ご本人・ご家族の思いを汲み取り、より良い施設生活を目指すために始めた、担当者会議へ在宅ケアマネに参加してもらう取り組みについて紹介していただきました。



名香山苑 羽鳥 博樹さん

在宅から施設へ、「ものがたり」を引き継いでいく

- これまで歩んできた「ものがたり」を共有し、支援に活かす。
- 慣れ親しんだ場所で、その人らしく、最期の時を迎えることができるよう、意思決定を支援していきたい。

「意思決定」を「支援」するために大切なポイント

- いつでも、どんな状態でもあきらめない。
- 「ものがたり」を大切に、意欲を奪わない。
- 「ものがたり」や思いを共有し、信頼関係をつくる。
- 関係者・関係機関との連携、意見交換、情報共有。
- 相手の立場に立って、目標を共有。
- 本人・家族の意思（意向）を尊重することが必ずしも意思決定支援ではない。
- 本人・家族の意思を変えていく、良い方向に導いていくことも大切。



取り組み事例紹介では、意思決定のプロセスを大事にしているということが良く分かった。今後は、在宅・施設で、看取りに関わる機会が多くなる。その時に、人生の最終段階における意思決定というものが求められてくる。



まとめは実行委員会の揚石先生

グループワーク・アンケートから

～意識して取り組んできたこと～

- 話をまず聞くこと。
- 気持ちに寄り添うこと。
- 相手の立場、気持ちになって考えること。
- 生活歴を知る。
- 何気ない会話の中から、思いや気持ちを汲み取る。
- 関係者との連携で情報共有、目標共有。

～難しく感じること～

- 本人の気持ちを引き出すこと。
- 本人と家族の考えが異なることが多々あるため、折り合いのつけ方は常に迷う。
- 「本人の意思を尊重することが必ずしも意思決定支援ではない」ということは、とても大切なことだが、とても難しいことでもある。
- 意思(思い)を確認できる人、できない人、どちらに対しても支援の難しさ、悩みがある。

～新たに取り組んでいきたいこと～

- 意思決定のプロセスを大切にしていきたい。
- 在宅と施設の関係性、同じ地域との思いを大事にしていきたい。
- 「ものがたり」を大切に、その人らしいプランを立てていきたい。
- 看取りについての意思決定。最期をどう迎えたいかを聞き、支援していきたい。
- ケアマネ交代になっても、その人のものがたり・思いを引き継ぎたい。
- 「本人の意思を尊重することが必ずしも意思決定支援ではない」「良い方向に導いていく」ということを常に頭に置いて取り組んでいきたい。